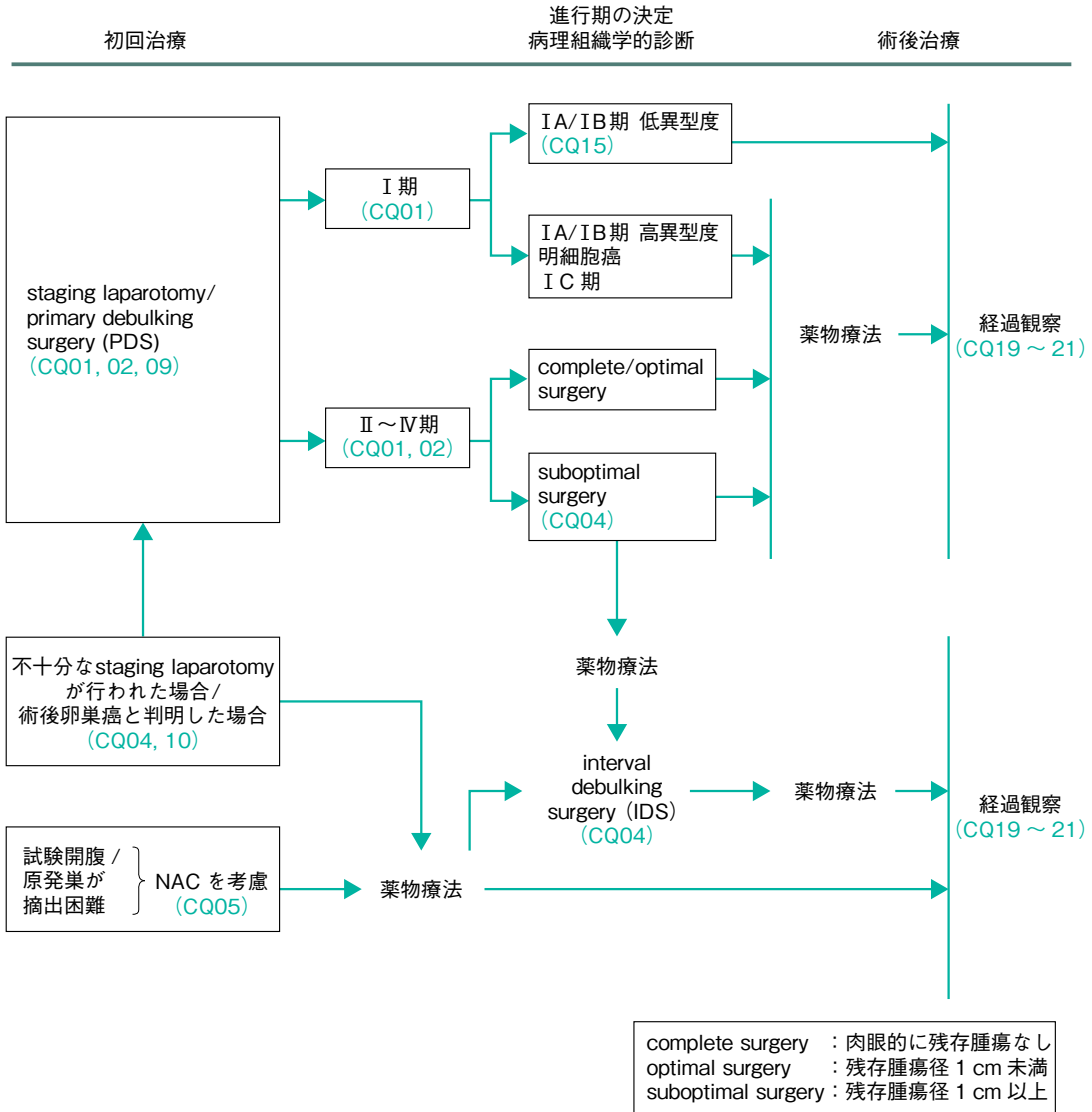


フローチャート 1

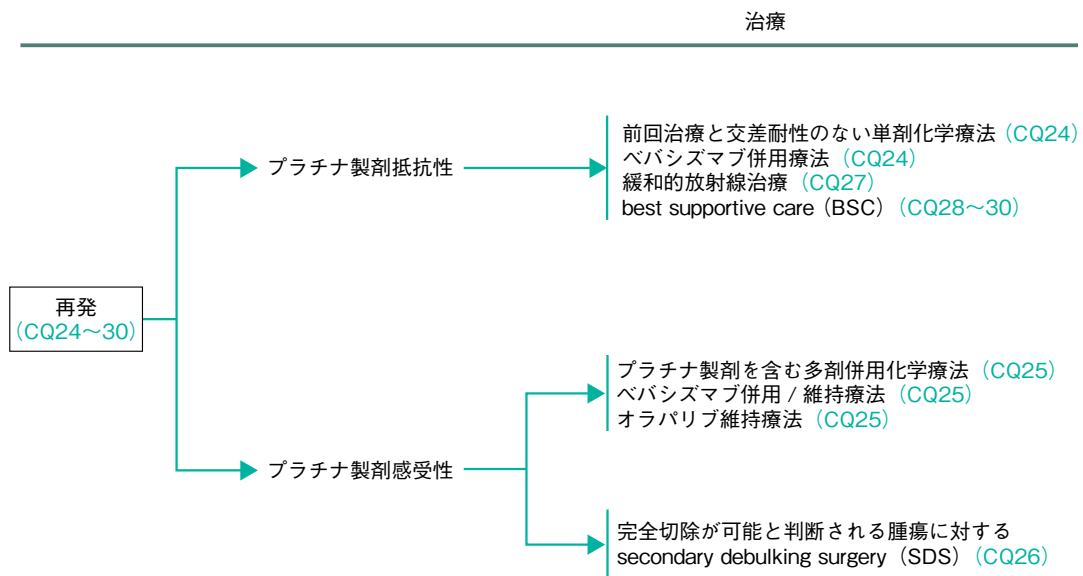
卵巣癌・卵管癌・腹膜癌の治療



注)薬物療法に関して、初回治療は CQ11, CQ14, 維持療法は CQ12, CQ13, 腹腔内化学療法は CQ17, ホルモン補充療法(HRT)は CQ22 を参照のこと。

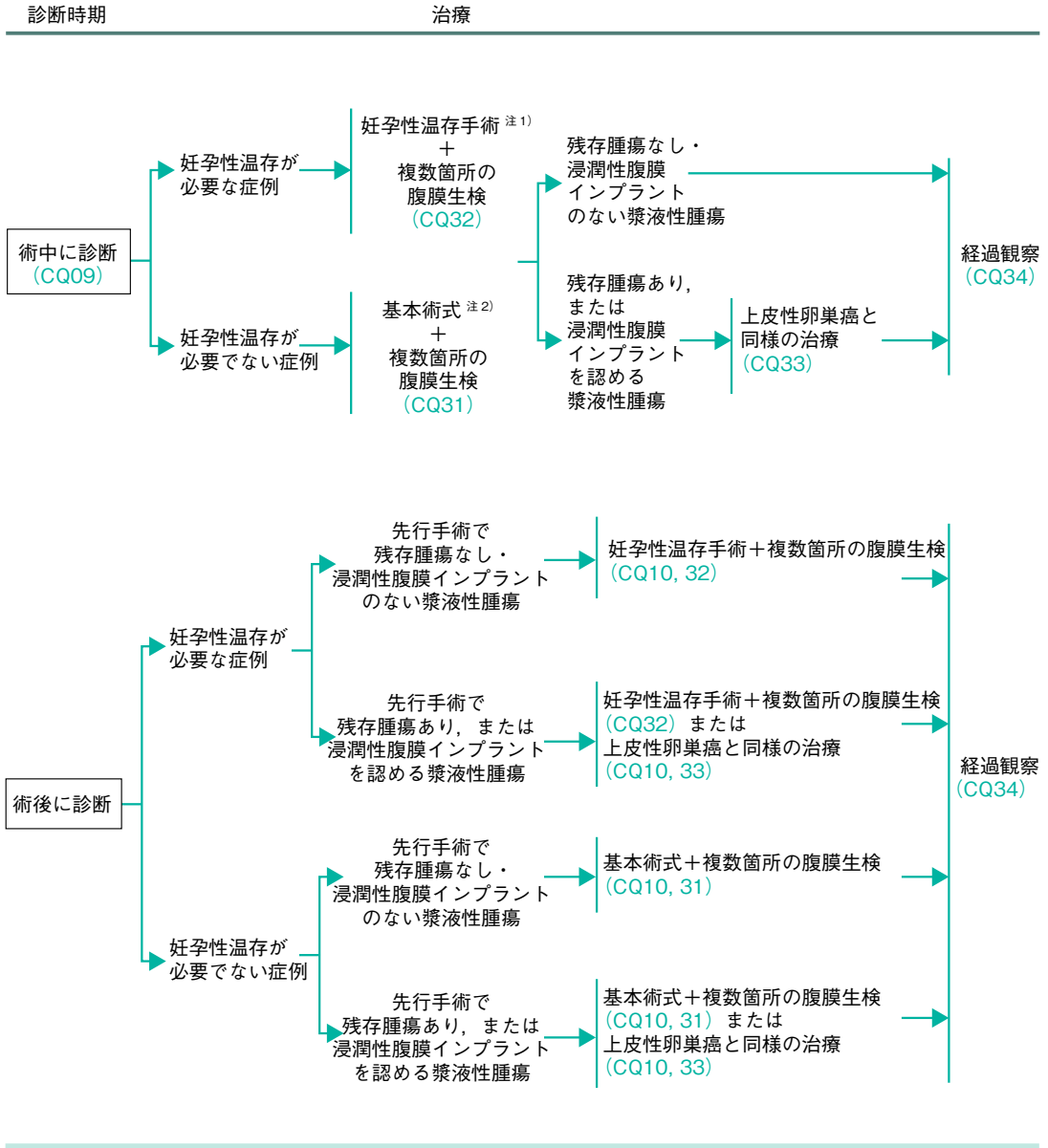
フローチャート 2

再発卵巣癌・卵管癌・腹膜癌の治療



注) プラチナ製剤による治療終了後から再発までの期間(platinum free interval ; PFI)が6カ月以上の再発症例を「プラチナ製剤感受性」、6カ月未満の再発症例を「プラチナ製剤抵抗性」と定義する。

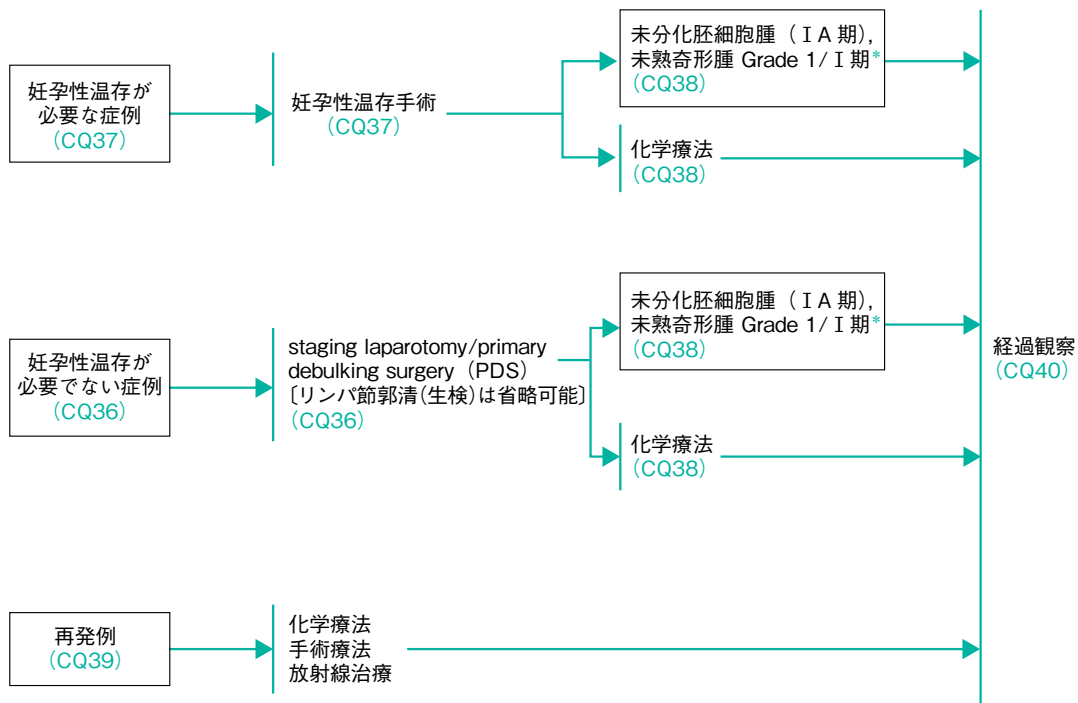
フローチャート 3 上皮性境界悪性卵巣腫瘍の治療



注 1) 妊娠性温存手術は、患側付属器摘出術 + 大網切除術 + 腹腔細胞診
 注 2) 基本術式は、両側付属器摘出術 + 子宮全摘出術 + 大網切除術 + 腹腔細胞診

フローチャート 4

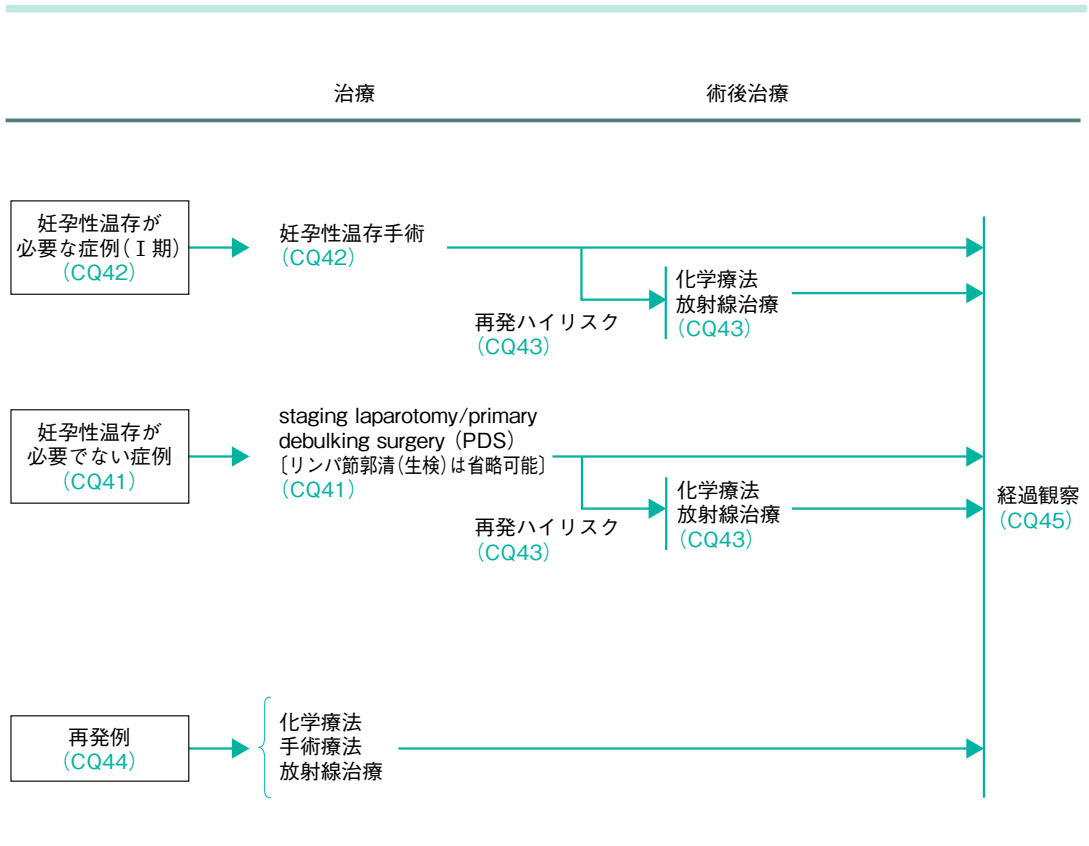
悪性卵巣胚細胞腫瘍の治療



*15歳未満の未熟奇形腫の完全切除例では、Gradeによらず化学療法を行わずに経過観察することが推奨されている (CQ38)。

注) 妊孕性温存手術は、患側付属器摘出術+大網切除術+腹腔細胞診に加えて腹腔内精査

フローチャート 5 性索間質性腫瘍の治療



注) 妊孕性温存手術は、患側付属器摘出術+大網切除術+腹腔細胞診に加えて腹腔内精査